

平成 27 年度文部科学省 大学における医療人養成の在り方に関わる調査研究委託事業

『看護系大学学士課程における臨地実習の現状並びに課題に関する調査研究』

本調査結果は、臨床実践能力の育成を図る上で重要な位置を占める看護学実習の基準作成の重要な基礎資料となるものです。

I. 大学の情報について

■学校コード(4 桁):

■大学名:

■設置主体: ① 国立、② 公立、③ 私立、④ 省庁大学校

各会員校の ID/PW でログインすると、
左記の 3 項目は自動表示されます

■ご所属名()、 担当者名:()

※社員(=代表者)または看護系学部・学科に所属する教員が責任を持って回答内容の最終確認を行ってください

■看護系大学設置年: ()年

■本調査への回答者としてのあなたのお立場 **1つのみ選択可**

- ☐ 教務にかかわる委員会等の長・委員
☐ 学部長／学科長
☐ その他()

■学士課程の学生数

・1 学年の定員()名

・全学年の定員()名

・編入年次:

☐ なし、

複数選択可

☐ 有り(2年次編入の定員) 名、

☐ 有り(3年次編入の定員) 名、

☐ 有り(4年次編入の定員) 名

■大学院設置の有無

修士課程/博士前期課程: **1つのみ選択可**

☐ あり

☐ なし

博士後期課程: **1つのみ選択可**

☐ あり

☐ なし

Ⅱ. 学生(学士課程)の看護学実習について

- * ここでいう実習とは、大学学士課程における看護師、助産師、保健師に関わる実習すべてを含みます。尚、助産師、保健師に関わる実習については、大学院や専攻科で行っている実習を含みません。
- * 実習科目名は、それぞれの大学によって異なると思いますが、内容が近い実習名のところにご回答ください。尚、該当しない実習の場合は、その他のテキストボックス内に実習名を記載して下さい。

1. 看護学実習の指導体制

1-1：各実習における単位数、実習グループ数等下記の項目に沿って記入して下さい。

* 実習形態は次のように定義します。

受け持ち実習：対象者(患者や地域住民等)1名以上受け持ちケアを提供する実習を展開している

見学実習：施設見学や患者同伴など主に見学を主としている

学内：大学内でオリエンテーションや実習のまとめなどを行っている

数値に幅がある場合はその最大値を入力してください。※例：17～18人となる場合は最大値の『18』と入力

実習名	単位数	1学年の実習 グループ数	1グループあた りの学生数	実習形態ごとの学生 1人あたりの実習日数	
基礎看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
成人看護学実習 (急性期)				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
成人看護学実習 (慢性期)				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
老年看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
小児看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
母性看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
精神看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
在宅看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
「看護の統合と実践」 における実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
公衆衛生看護学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日
助産学実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい。その他は幾つでも追加可能です。

() 実習				受け持ち実習	日
				見学実習	日
				学内	日

1-2：各実習における使用施設数、指導教員数、教員の指導体制、学生の指導に関わる施設側の職員について記入して下さい。

- * 教員については、助教以上は常勤の教授・准教授・講師・助教を含み、助手は常勤で学校教育法にある役割をとる者、実習助手は常勤で実習指導のために雇用されている者としてします。
- * 指導体制については、常駐：実習期間中、教員は実習施設・病棟に常駐している、巡回：実習期間中、教員は実習施設に常駐することはなく、複数施設を巡回する、常駐・巡回：実習期間中、教員は実習施設に常駐しているが、複数病棟を巡回する、とします。
- * 施設側の職員については、学生に主に関わる全ての人にチェックをつけて下さい。選択肢で該当する職名がない場合は、その他にチェックをして、職名を記載して下さい。

実習名	使用施設数	教員数	教員の指導体制	施設側の職員で主に関わる人 複数選択可
基礎看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
成人看護学実習 （急性期）	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
成人看護学実習 （慢性期）	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
老年看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
小児看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
母性看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
精神看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
在宅看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
「看護の統合と実践」における実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
公衆衛生看護学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）

（続き）実習名	使用施設数	教員数	教員の指導体制	施設側の職員で主に関わる人 複数選択可
助産学実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい。その他は幾つでも追加可能です。

（ ）実習	全施設 学生1人あたり施設	助教以上 人 助手 人 実習助手 人 非常勤 人 TA 人	常駐 人 巡回 人 常駐・巡回 人	☐ 実習指導者 ☐ スタッフ ☐ その他（ ）
-------	------------------	---	-------------------------	--

1－3：実習において、教員および施設側指導者はどのような役割を果たしていますか。
当てはまるものを選択して下さい。

実習名	教員の役割 複数選択可	施設側実習指導者の役割 複数選択可
基礎看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
成人看護学実習(急性期)	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
成人看護学実習(慢性期)	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
老年看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
小児看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける

(続き)	☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
実習名	教員の役割 複数選択可	施設側実習指導者の役割 複数選択可
母性看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
精神看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
在宅看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
「看護の統合と実践」における実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
公衆衛生看護学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス
助産学実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい。幾つでも追加可能です。

(続き) 実習名	教員の役割 複数選択可	施設側実習指導者の役割 複数選択可
()実習	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス	☐ 思考の整理、 ☐ 日々の計画内容の調整 ☐ ケア実施の調整 ☐ ケアの指導(見守りを含む) ☐ 報告を受ける ☐ ケアの振り返り ☐ 記録(看護計画)の確認 ☐ 実習評価 ☐ カンファレンス

2. 看護学実習内容および学生の実習への取り組み状況

2-1: 実習の評価・単位認定についてお伺いします。

■実習科目の単位修得に必要な出席日数の割合を記入して下さい。

実習日数の () / () (日数ではなく割合を入力してください)

■実習科目において学生の自己評価を作成していますか。 **1つのみ選択可**

- ☐ はい
☐ いいえ
☐ ある科目とない科目がある

2-2: 単位認定に際して、成績評価の点数配分(100点満点)を記入して下さい。

その他の項目がある場合は、その他に入力して下さい。

※0点の場合は0と入力し、合計が100点になるように入力して下さい。

実習名	実習目標 到達度	実習態度	実習記録	レポート	その他	合計
基礎看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
成人看護学実習(急性期)	点	点	点	点	(): 点	点
成人看護学実習(慢性期)	点	点	点	点	(): 点	点
老年看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
小児看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
母性看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
精神看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
在宅看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
「看護の統合と実践」における実習	点	点	点	点	(): 点	点
公衆衛生看護学実習	点	点	点	点	(): 点	点
助産学実習	点	点	点	点	(): 点	点

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい。幾つでも追加可能です。

()実習	点	点	点	点	(): 点	点
()実習	点	点	点	点	(): 点	点

2－3：実習の目標達成状況について、各達成度における学生の割合を 2014 年度の実績で記入して下さい。
60 点未満の場合は、その理由として当てはまるものを選んでください。60 点未満の場合、その理由を全て
選んでください。[その他]を選択した方は、その内容を記載してください。

※0%の場合は 0 と入力し、合計が 100%になるように入力して下さい。

実習名	80 点 以上	70 点 台	60 点 台	60 点 未満 (不合格)	60 点未満の理由 複数選択可	合計
基礎看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
成人看護学実習 (急性期)	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
成人看護学実習 (慢性期)	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
老年看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
小児看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
母性看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
精神看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
在宅看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
「看護の統合と実践」にお ける実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%

実習名	80 点 以上	70 点 台	60 点 台	60 点 未満 (不合格)	60 点未満の理由 複数選択可	合計
公衆衛生看護学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
助産学実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい。その他は幾つでも追加可能です。

() 実習	%	%	%	%	☐ 心身の変調により出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず出席日数が足りない ☐ 学習が追いつかず実習内容が不十分である ☐ 患者との関係が作れず実習内容が不十分である ☐ その他	%
--------	---	---	---	---	--	---

2-4：学生の実習への取り組みの状況について、

学生自身の主体的・自立的な能力をのばすために、実習ではどのような工夫をしていますか。

工夫している取り組みがあれば、下記に記載して下さい。また、記載する際に、実習領域名や学年がわかるようにお願いします。

例) 4 年生の看護の統合と実践における実習では、学生が自分で実習目標や実習計画を立案し、実習施設に対して実習の説明をしている。あるいは、学生が患者に実習の説明をして、学生自身で同意を得ている。など

2-5：実習における受け持ち対象者のインフォームドコンセントについて、実習ではどのように対象者に説明し、同意を得ていますか。

該当するところにすべてチェックを入れて下さい。また、回答それぞれの領域名を選択してください。「その他」に該当する場合は、具体的な方法を記載してください。

回答選択肢 複数選択可	領域番号 複数選択可
☐ 説明文書を用いて実習内容・方法を説明し、文書で同意を得ている。	☐ 基礎看護学実習 ☐ 成人看護学実習（急性・慢性を含む） ☐ 老年看護学実習 ☐ 小児看護学実習 ☐ 母性看護学実習 ☐ 精神看護学実習 ☐ 在宅看護学実習 ☐ 看護の統合と実践での実習 ☐ 助産学実習

	☐ その他 ()
回答選択肢 複数選択可	領域番号 複数選択可
☐ 説明文書を用いて実習内容・方法を説明し、口頭で同意を得ている。	☐ 基礎看護学実習 ☐ 成人看護学実習（急性・慢性を含む） ☐ 老年看護学実習 ☐ 小児看護学実習 ☐ 母性看護学実習 ☐ 精神看護学実習 ☐ 在宅看護学実習 ☐ 看護の統合と実践での実習 ☐ 助産学実習 ☐ その他 ()
☐ 口頭で実習内容・方法を説明し、文書で同意を得ている。	☐ 基礎看護学実習 ☐ 成人看護学実習（急性・慢性を含む） ☐ 老年看護学実習 ☐ 小児看護学実習 ☐ 母性看護学実習 ☐ 精神看護学実習 ☐ 在宅看護学実習 ☐ 看護の統合と実践での実習 ☐ 助産学実習 ☐ その他 ()
☐ 口頭で実習内容・方法を説明し、口頭で同意を得ている。	☐ 基礎看護学実習 ☐ 成人看護学実習（急性・慢性を含む） ☐ 老年看護学実習 ☐ 小児看護学実習 ☐ 母性看護学実習 ☐ 精神看護学実習 ☐ 在宅看護学実習 ☐ 看護の統合と実践での実習 ☐ 助産学実習 ☐ その他 ()
☐ その他 ()	☐ 基礎看護学実習 ☐ 成人看護学実習（急性・慢性を含む） ☐ 老年看護学実習 ☐ 小児看護学実習 ☐ 母性看護学実習 ☐ 精神看護学実習 ☐ 在宅看護学実習 ☐ 看護の統合と実践での実習 ☐ 助産学実習 ☐ その他 ()

2－6：実習で受け持つ対象者の個人情報保護について、どのような教育や指導を行っていますか。

「その他」に該当する場合は、具体的な方法を記載してください。 **複数選択可**

- ☐ 対象者の個人情報保護に関する事項について誓約書を学生に書かせている。
- ☐ 対象者の個人情報保護に関する事項について実習要項に入れている。
- ☐ 対象者の個人情報保護に関する事項について講義とは別に説明する機会をもっている。
- ☐ ある科目の講義の中で、対象者の個人情報保護に関する事項について説明している。
- ☐ その他 ()

3. 実習施設との連携と確保

3-1：実習施設と大学全体で行う、大学の教育方針、教育目標、課題を共有するような「実習教育のための全体会議」をしていますか。 **1つのみ選択可**

- ☐ している。 ☐ していない。

3-2：実習施設と連絡調整を行っている事柄について、該当するものにすべてチェックをつけて下さい。

複数選択可

- | | |
|---|--|
| ☐ 実習目的・実習方法などの実習概要 | ☐ 学生の習得済み学習内容について |
| ☐ 実習学生の特性 | ☐ 実習指導案 |
| ☐ 学生が使用する物品の確認・整備 | ☐ 看護技術の手順 |
| ☐ 学生が更衣・食事をする場所の確保 | ☐ 学生がカンファレンスや自己学習をする場所の確保 |
| ☐ 感染症や事故防止対策 | ☐ 感染症や事故発生時の対応 |
| ☐ 実習の具体的内容と評価 | ☐ 電子カルテの操作法と利用上の注意 |
| ☐ 個人情報取り扱いに関する取り決め | ☐ 実習のまとめ・振り返り |
| ☐ その他（ ） | |

3-3：実習施設とのより良い連携を図るために行っている事柄について、該当するものを選んで下さい。

複数選択可

- | | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ 大学から実習施設への講師派遣 | ☐ 施設から大学への講師派遣 | ☐ 共同研究の実施 |
| ☐ 総合的な教育体制の検討 | ☐ 実習指導研修会 | ☐ 臨床教員制度の活用 |
| ☐ その他（ ） | | |

3-4：実習施設の確保状況について当てはまるものを選択して下さい。

理由を選択肢から選びチェックして下さい。「その他」を選ばれた方は、その理由をご記入ください。

実習名	確保状況 1つのみ選択可	理由 複数選択可
基礎看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
成人看護学実習（急性期）	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
成人看護学実習（慢性期）	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある

(続き)	不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
実習名	確保状況 1つのみ選択可	理由 複数選択可
老年看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
小児看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
母性看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
精神看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
在宅看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い

		☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
実習名	確保状況 1つのみ選択可	理由 複数選択可
「看護の統合と実践」における実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
公衆衛生看護学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
助産学実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい

（ ）実習	☐ 安定的に確保できている ☐ 現在は確保できているが、2～3 年後は不確定である ☐ 現在も確保は不確定である	☐ 大学の附属または関連施設である ☐ これまでの実績/関係性がある ☐ 競合する大学がない ☐ 競合する大学が増加した ☐ 新設/歴史の浅い大学である ☐ 施設への就職率が低い ☐ 施設との間にトラブルがあった ☐ その他（ ）
-------	--	--

4. 看護学実習における課題や問題**4-1：現在、各実習で課題や問題がありますか。**

ある場合はどのような当てはまるものを選択して下さい。なお、その他を選択した場合は、具体的な内容を記載して下さい。

実習名	選択肢
基礎看護学実習	○問題はない、 ○問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
成人看護学実習（急性期）	○問題はない、 ○問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
成人看護学実習（慢性期）	○問題はない、 ○問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足

(続き) 成人看護学実習（慢性期）	☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
老年看護学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
小児看護学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない

(続き) 小児看護学実習	☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
母性看護学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
精神看護学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
在宅看護学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足

(続き) 在宅看護学実習	☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
「看護の統合と実践」における実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
公衆衛生看護学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない

Web 調査項目見本（本会 HP から専用 WEB ページにログインしてご回答下さい）

(続き) 公衆衛生看護学実習	☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
助産学実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()

上記に該当しない場合や追加する場合は下の「その他」項目に記載して下さい。幾つでも追加可能です。

() 実習	☐ 問題はない、 ☐ 問題がある 1つのみ選択可 ※問題があると答えた場合は下記よりお選びください 複数選択可 ☐ 実習時間不足 ☐ 実習時期・日程の調整 ☐ 実習施設の確保が困難 ☐ 実習施設が遠い ☐ 多数の実習施設を使用しなければならない ☐ 実習指導非常勤教員・TA の確保 ☐ 実習施設と実習に関する協議が十分にできない ☐ 実習施設の実習協力体制が整わない ☐ 実習施設の職員から十分な指導が得られない ☐ 実習に適した対象者が少ない ☐ 学生の受け持ちについて患者・家族の同意が得にくい ☐ 学内技術演習と施設のケア技術に乖離が見られる ☐ 実習のために宿泊しなければならない ☐ 実習費用について ☐ その他()
--------	--

4-2：実習目標や課題に照らして、また、地域包括ケアの導入にあたって今後期待される教育を実施するために、新たに開拓したり、追加した保健医療福祉関連施設についてお尋ねします。下記の施設について実習施設として使用しているか、新たに開拓した理由等、項目に従って記載して下さい。

その他の施設については、「その他」に加えて下さい。

施設	使用の有無 1つのみ選択可	使用「あり」の場合		
		使用開始年 (西暦)	新たに加えた理由	困難点、残っている課題、 実習目標の達成
療養型病床介護施設	○あり ○なし			例) 臨地での看護に関する指導者がいない。そのため、学習する内容について看護の役割と介護の役割についての混乱が生じていることが課題である。
地域包括ケアセンター	○あり ○なし			
精神科デイケアセンター	○あり ○なし			
訪問看護ステーション	○あり ○なし			
学校看護実習	○あり ○なし			
その他 ()	○あり ○なし			
その他 ()	○あり ○なし			
その他 ()	○あり ○なし			

3) 今後、新たに開拓しようと考えている実習施設があれば記載して下さい。また、その理由もさしつかえなければお書き下さい。

4) 実習における倫理的配慮についての課題があれば記載して下さい。

5) 実習における個人情報保護、守秘義務に関する課題 (SNS の利用に関する課題等) があれば記載して下さい。

6) 実習における電子カルテ活用に関する課題があれば記載して下さい。

7) 実習における感染対策についての課題があれば記載して下さい。

8) 教員の実習対応時間について課題があれば記載して下さい。

9) 実習施設に支払う実習費について課題があればお書きください。

10) 実習施設において、学生が対象者への看護ケアを提供することに関する課題についてお書きください。

*次年度は、看護学実習に関するインタビュー調査を予定しております。引き続き調査にご協力いただける場合は、下記のご連絡先をご記入くださいますようお願いいたします。

ご担当の方のお名前: _____

ご連絡先:電子メール: _____

電 話: _____

質問は以上です。本調査へのご協力誠にありがとうございました。

アンケートのお問い合わせ先

■調査内容について

兵庫県立大学 坂下 玲子 Mail : sakashita@cnas.u-hyogo.ac.jp 電話 : 078-925-9416

兵庫県立大学 工藤 美子 Mail : yoshiko_kudou@cnas.u-hyogo.ac.jp 電話 : 078-925-9439

■学校コード、ID やパスワードに関すること

一般社団法人日本看護系大学協議会事務局 Mail : office@janpu.or.jp 電話 : 03-6206-9451